

5. 宮城県てんかん診療地域連携事業

「東北大学病院てんかんセンターにおける活動の概要」

東北大学病院てんかんセンター 中里信和

【まとめ】

東北大学病院てんかんセンターでは、診療・研究・教育という大学病院の活動の3本の目標のもと、多診療科連携、多職種連携、さらには総合大学としての包括的活動を展開している。施設内でのベストの診療を求めるだけでなく、関連他施設との連携を深めて、てんかん診療を推進する人材育成が究極のゴールである。2021年度は covid-19 パンデミックの影響を受けつつも、昨年を引き続いて遠隔診療、医工連携、啓発活動の推進において顕著な成果が得られている。

【2021年度てんかん診療医療連携拠点協議会委員名簿】

	氏名	所属先
1	中里 信和	東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野 教授 (日本てんかん学会専門医・指導医, 日本脳神経外科学会専門医)
2	富永 悌二	東北大学病院長 東北大学大学院医学系研究科神経外科学分野 教授 (日本脳神経外科学会専門医)
3	青木 正志	東北大学大学院医学系研究科神経内科学分野 教授 (日本神経学会専門医)
4	呉 繁夫	東北大学大学院医学系研究科小児病態学分野 教授 (日本小児科学会専門医)
5	富田 博秋	東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野 教授
6	高瀬 圭	東北大学大学院医学系研究科放射線診断学分野 教授 (日本医学放射線学会専門医)
7	三木 俊	東北大学病院生理検査センター 診療技術部生理検査部門長
8	鈴木 由美	東北大学病院 看護部長
9	神 一敬	東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野 准教授 (日本てんかん学会専門医・指導医, 日本神経学会専門医)
10	小川 舞美	東北大学病院てんかん科 (公認心理師)
11	高橋 比呂子	東北大学病院地域医療連携課 課長補佐
12	吉原 千佳	東北大学病院地域医療連携センター (社会福祉士, 精神保健福祉士)

13	本庄谷 奈央	東北大学病院地域医療連携センター てんかん診療支援コーディネーター (精神保健福祉士)
14	上埜 高志	東北福祉大学総合福祉学部社会福祉学科 教授 (精神保健指定医, 日本精神神経学会専門医・指導医)
15	萩野谷 和裕	宮城県立こども病院 副院長 (日本てんかん学会専門医・指導医, 日本小児神経学会専門医)
16	北村 太郎	仙台市立病院小児科 医長 (日本小児神経学会専門医, 日本小児科学会専門医・指導医)
17	角藤 芳久	宮城県立精神医療センター 院長 (精神保健指定医)
18	松野 あやえ	宮城県保健福祉部精神保健推進室 室長
19	村上 めぐみ	宮城県保健福祉部精神保健推進室 技術主幹 (精神保健推進班長)
20	小原 聡子	宮城県精神保健福祉センター 所長
21	木村 慶子	仙台市保健所太白支所 障害高齢課 地域支援係長
22	萩原 せつ子	日本てんかん協会宮城県支部 事務局長 (てんかん患者の家族)

【2021年度の代表的活動】

開催日	対象者	研修内容
令和3年4月10日	第125回東北大学てんかん症例検討会	難治性てんかん症例の入院精査結果に基づいた包括的症例検討会。遠隔会議システムを用いて全国各地の専門施設からの参加有り。
令和3年5月29日	第126回東北大学てんかん症例検討会	難治性てんかん症例の入院精査結果に基づいた包括的症例検討会。遠隔会議システムを用いて全国各地の専門施設からの参加有り。
令和3年5月29日	てんかん包括医療東北研究会	てんかん診療に関わる東北地方の医師および医療関係者を対象として、神奈川県より寺田清人先生の特別講演。
令和3年6月26日	第127回東北大学てんかん症例検討会	難治性てんかん症例の入院精査結果に基づいた包括的症例検討会。遠隔会議システムを用いて全国各地の専門施設からの参加有り。
令和3年7月10日	日本てんかん学会東北地方会	てんかん診療に関わる東北地方の医師および医療関係者が一同に介する年1回開催の学術集会で、昨年度は新型コロナウイルス蔓延にて中止だったものを1年延期し、今年度、中里信和センター長が会長として開催。同日開催の九州地方会との合同セッションも企画され盛況だった。
令和3年7月10日	東北てんかんフォーラム	てんかん診療に関わる東北地方の医師および医療関係者を対象として、中村記念病院脳神経内科の溝渕雅広先生の特別講演。
令和3年7月28日	第128回東北大学てんかん症例検討会	難治性てんかん症例の入院精査結果に基づいた包括的症例検討会。遠隔会議システムを用いて全国各地の専門施設からの参加有り。

令和3年8月25日	第129回東北大学てんかん症例検討会	難治性てんかん症例の入院精査結果に基づいた包括的症例検討会。遠隔会議システムを用いて全国各地の専門施設からの参加有り。
令和3年8月26日	てんかん診療 Next Stage in 東北	東北地方の医師・医療者を対象として、国立精神・神経医療研究センターの岩崎真樹先生と、聖隷浜松病院小児神経科の榎日出夫潜性を招いた講演会を開催。
令和3年9月15日	第130回東北大学てんかん症例検討会	難治性てんかん症例の入院精査結果に基づいた包括的症例検討会。遠隔会議システムを用いて全国各地の専門施設からの参加有り。
令和3年10月20日	第131回東北大学てんかん症例検討会	難治性てんかん症例の入院精査結果に基づいた包括的症例検討会。遠隔会議システムを用いて全国各地の専門施設からの参加有り。
令和3年11月17日	第132回東北大学てんかん症例検討会	難治性てんかん症例の入院精査結果に基づいた包括的症例検討会。遠隔会議システムを用いて全国各地の専門施設からの参加有り。
令和3年11月20日	てんかん包括医療東北研究会	てんかん診療に関わる東北地方の医師および医療関係者を対象として、「てんかんとAI」をテーマとする講演会を開催。講師は慶応大学精神科の岸本泰士郎先生と大阪大学脳機能診断再建学の平田雅之先生。
令和3年12月16日～18日	日本臨床神経生理学会大会・技術講習会の主催	脳波や筋電図に関わる医師や臨床検査技師、基礎研究者が一同に会する全国規模の学術集会であり、てんかんは最大のテーマとなっている。今回は、中里信和センター長が大会長として、仙台市で開催した。参加者登録者は2,000名を超え、現地参加者も600名となり、地方開催としては最大級の規模となった。
令和3年12月21日	Comprehensive Epilepsy Practice Web Seminar	東北大学病院関連の病院の精神科医師を対象に、包括的てんかん診療の最新的话题を提供。てんかん科公認心理師の小川舞美の一般講演「てんかん診療における心理師の役割」と、渡邊さつき先生（埼玉医科大学病院精神科・心療内科准教授）による特別講演「精神科診療に必要なてんかんの知識」を行った。
令和4年1月5日	第133回東北大学てんかん症例検討会	難治性てんかん症例の入院精査結果に基づいた包括的症例検討会。遠隔会議システムを用いて全国各地の専門施設からの参加有り。
令和4年2月2日	第134回東北大学てんかん症例検討会	難治性てんかん症例の入院精査結果に基づいた包括的症例検討会。遠隔会議システムを用いて全国各地の専門施設からの参加有り。
令和4年2月2日	東北てんかんフォーラム	てんかん診療に関わる東北地方の医師および医療関係者を対象として、静岡てんかん・神経医療センター 西田 拓司 先生を招いての講演会を開催した。北海道から沖縄まで約90名の参加者があった。
令和4年3月9日	第135回東北大学てんかん症例検討会	難治性てんかん症例の入院精査結果に基づいた包括的症例検討会。遠隔会議システムを用いて全国各地の専門施設からの参加有り。
令和4年3月26日	てんかん啓発パープルデー宮城	3月26日にむけての約2週間を利用し、宮城県内において、てんかん啓発を目的としたラジオ放送や市民講演会など、一連のイベントを開催予定である。とくに地元のプロバスケットボールチーム（Sendai 89' ERS）のホームゲームを、東北大学病院の主催とする予定である（次ページポスター）。

【てんかん啓発動画のシリーズを作成】

FM仙台の協力を得て、てんかんの基本的な知識を説明するための3～5分の動画を作成し、YouTube上に掲載予定である。今年度は10本のビデオを作成し、来年度以降も追加での作成を予定している。

≡ 世界に広がる「てんかん」啓発キャンペーン ≡

PURPLE DAY

3月26日はパープルデー

宮城パープルデー「知って安心、てんかん」

紫色の物を身に着けて応援に行こう!!



©SENDAI 89ERS

ホームゲーム
会場で開催!

当日は会場で
オリジナル缶バッジプレゼント!

※数に限りがございます。無くなり次第終了となります。



©SENDAI 89ERS

日時

2022年3月26日(土)

開場

16:00

試合開始

18:00

会場

カメイアリーナ仙台(仙台市体育館)

チケット
問い合わせ

株式会社仙台89ERS

TEL: 022-281-8562(平日10:00~18:00/不定休)

MAIL: info@89ers.jp



主催: 東北大学病院 共催: 宮城県 宮城県受託事業受託者: 東北大学病院てんかんセンター
後援: 日本てんかん学会、日本てんかん協会宮城県支部、株式会社エフエム仙台

【発表論文（2021年以降）】

- 1) Ukishiro K, Osawa SI, Iwasaki M, Kakisaka Y, Jin K, Uematsu M, Yamamoto T, Tominaga T, Nakasato N: Age-related recovery of daily living activity after one-stage complete corpus callosotomy: a retrospective analysis of 41 cases. *Neurosurgery* (in press)
- 2) Tatum WO, Mani J, Jin K, Halford JJ, Gloss D, Fahoum F, Maillard L, Mothersill I, Beniczky S. Minimum standards for inpatient long-term video-EEG monitoring: A clinical practice guideline of the international league against epilepsy and international federation of clinical neurophysiology. *Clin Neurophysiol* 134:111-128, 2022 (<https://doi.org/10.1016/j.clinph.2021.07.016>)
- 3) Oogane M, Fujiwara K, Kanno A, Nakano T, Agatsuma H, Arimoto H, Mizukami S, Kumagai S, Matsuzaki H, Nakasato N, Ando Y: Sub-pT magnetic field detection by tunnel magneto-resistive sensors. *Applied Physics Express* 14: 123002, 2021 (<https://doi.org/10.35848/1882-0786/ac3809>)
- 4) Numata-Uematsu Y, Uematsu M, Sakuraba R, Iwasaki M, Osawa S, Jin K, Nakasato N, Kure S: The onset of interictal spike-related ripples facilitates detection of the epileptogenic zone. *Front Neurol* 12: 724417, 2021 (<https://doi.org/10.3389/fneur.2021.724417>)
- 5) Kuroda N, Kubota T, Horinouchi T, Ikegaya N, Kitazawa Y, Kodama S, Matsubara T, Nagino N, Neshige S, Soga T, Sone D, Takayama Y, Kuramochi I: IMPACT-J EPILEPSY (In-depth Multicenter analysis during Pandemic of Covid19 Throughout Japan for Epilepsy practice) study group, Kanemoto K, Ikeda A, Terada K, Goji H, Ohara S, Hagiwara K, Kamada T, Iida K, Ishikawa N, Shiraiishi H, Iwata O, Sugano H, Inuma Y, Higashi T, Hosoyama H, Hanaya R, Shimotake A, Kikuchi T, Yoshida T, Shigeto H, Yokoyama J, Makaino T, Kato M, Sekimoto M, Mizobuchi M, Abukawa Y, Iwasaki M, Nakagawa E, Iwata T, Tomato K, Nishida T, Takahashi Y, Kikuchi K, Matsuura R, Hamano SI, Yamanouchi H, Watanabe S, Fujimoto A, Nakamoto H, Kubota Y, Kunii N, Shirota Y, Ishikawa E, Nakasato N, Maehara T, Inaji M, Takagi S, Enokizono T, Masuda Y, Hayashi T: Risk factors for psychological distress in electroencephalography technicians during the COVID-19 pandemic: A national-level cross-sectional survey in Japan. *Epilepsy Behav* 125:108361, 2021 (<https://doi.org/10.1016/j.yebeh.2021.108361>)
- 6) Nakasato N: Biomagnetometry is warming up from liquid helium to room temperature. *Clin Neurophysiol* 132: 2666-2667, 2021 (<https://doi.org/10.1016/j.clinph.2021.07.007>)
- 7) Agari D, Jin K, Kakisaka Y, Kanno A, Ishida M, Kawashima R, Nakasato N: Magnetoencephalography to confirm epileptiform discharges mimicking small sharp spikes in temporal lobe epilepsy. *Clin Neurophysiol* 132: 1785-1789, 2021 (<https://doi.org/10.1016/j.clinph.2021.03.049>)
- 8) Ogawa M, Fujikawa M, Jin K, Kakisaka Y, Ueno T, Nakasato N: Acceptance of disability predicts quality of life in patients with epilepsy. *Epilepsy Behav* 120: 107979, 2021 (DOI: 10.1016/j.yebeh.2021.107979)
- 9) Hosokawa H, Kanno S, Nishio Y, Kawasaki I, Hirayama K, Sunaga A, Shoji N, Iwasaki M, Nakasato N, Tominaga T, Suzuki K: Facial memory ability and self-awareness in patients with temporal lobe epilepsy after anterior temporal lobectomy. *PLoS ONE* 16: e0248785 (<https://doi.org/10.1371/journal.pone.0248785>)
- 10) Iwaki H, Sonoda M, Osawa SI, Silverstein BH, Mitsuhashi T, Ukishiro K, Takayama Y, Kambara T, Kakinuma K, Suzuki K, Tominaga T, Nakasato N, Iwasaki M, Asano E: Your verbal questions with 'what' will rapidly deactivate the left prefrontal cortex of listeners. *Sci Reports* 11: 5257, 2021 (<https://doi.org/10.1038/s41598-021-84610-1>)
- 11) Itabashi I, Jin K, Sato S, Suzuki H, Iwasaki M, Kitazawa Y, Kakisaka Y, Nakasato N. Initial delta and delayed theta/alpha pattern in the temporal region on ictal EEG suggests purely hippocampal epileptogenicity. *Clin Neurophysiol* 132: 737-743, 2021 (<https://doi.org/10.1016/j.clinph.2020.11.041>)
- 12) Gabriel F, Kakisaka Y, Jin K, Osawa S, Iwasaki M, Tominaga T, Nakasato N. External validation of the Epilepsy Surgery Grading Scale in a Japanese cohort of patients with epilepsy. *Epileptic Disord* 23: 104-110, 2021 (DOI: 10.1684/epd.2021.1238)
- 13) Nomura Y, Kawase T, Kanno A, Nakasato N, Kawashima R, Katori Y: N100m latency shortening caused by selective attention. *Brain Res* 1751:147177, 2021 (doi.org/10.1016/j.brainres.2020.147177)
- 14) 中里信和：てんかんを診療する「前医」へのメッセージ。小児内科 53: 1507-1510, 2021

- 15) 小川舞美, 大沢伸一郎, 上利大, 柿坂庸介, 神一敬, 富永悌二, 中里信和: 開頭術語に生じた心因性非てんかん発作に心理社会的アプローチが著効した1例. 脳外速報 31: e20213106a, 2021
- 16) 中里信和: オンライン診療の光と影: ポストコロナ時代に向けて. LiSA 28: 2021-2027, 2021
- 17) 菅野彰剛, 大兼幹彦, 藤原耕輔, 松崎斉, 安藤康夫, 中里信和: トンネル磁気抵抗素子を用いた室温脳磁計による体性感覚誘発磁界の測定. 日本生体磁気学会誌 34: 112-113, 2021
- 18) 柿坂庸介, 中里信和: てんかん領域におけるオンライン診療. Current Therapy 39: 34-37, 2021
- 19) 中里信和: てんかんの遠隔診療. 厚生労働省科学研究費補助金障害者政策総合研究事業「てんかんの地域診療連携体制の推進のためのてんかん診療拠点病院運用ガイドラインに関する研究班」(編): てんかん診療拠点病院運用の手引き. pp 9-11, 2021
- 20) 中里信和: てんかん診療の理想を実現し、持続可能とするために. てんかん研究 38: 187-188, 2021
- 21) 中里信和, 柿坂庸介: オンライン診療における医療ネットワークの構築. 今日の治療指針. pp 1926-1927. 医学書院. 2021
- 22) 中里信和: オンライン診療の手引き「各論: てんかん」。今日の治療指針(電子版). 医学書院. 2021
- 23) 神一敬: てんかん. 下畑享良(編著): 脳神経内科診断ハンドブック. 中外医学社. pp319-322, 2022
- 24) 神一敬: てんかんの内科治療. 福井次矢ら(総編集): 今日の治療指針 2021年版 (Volume 63). 医学書院. pp1004-1006, 2021